令和7年1月吉日

関西珠洲会だより

関西珠洲会
発行責任者
会長 宮崎 和夫

息の長い支援を求め　2回目の街頭募金活動を実施

大阪難波での街頭募金活動（2回目）

日時：令和7年1月11日（土）　13時～16時
場所：大阪高島屋百貨店前　なんば広場

　能登半島地震、能登半島豪雨による故郷の被災者支援のため、大阪難波にて街頭募金活動を行いました。関西珠洲会としては昨年10月に続き、 2回目となります。
　今回は大阪に二次避難されている鵜島善博さんご夫婦も含め16名が参加しました。
　寒さ厳しいなかでの募金活動でしたが、通行人の皆さまからは温かいご支援として、280,616円、またこの募金活動に共感された縁の方々からも13万4千円を頂き、**合計414,616円**の募金を集めることができました。
　ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。頂いた皆様の善意を被災された方々に届けて参ります。

　外国人観光客が多い難波ということもあり、今回は英語表記のプラカードも用意しました。
　そのおかげで外国の方々とも目が合い、多くの義援金をいただきました。国籍や年齢、性別を問わず、多くの方々に能登への支援をアピールできて良かったです。

能登地震 1-1

息長い支援求め 募金活動

関西珠洲会 南海難波駅前で

能登半島地震や豪雨の被災者を支援しようと、関西在住の石川県珠洲市や能登町出身者でつくる「関西珠洲会」のメンバーが11日、大阪市の南海難波駅前で募金活動をした。

同会は2013年に設立され、地震発生直後から関西に2次避難してきた被災者の支援や、商品券や必要な物品を被災地に届ける活動を続けてきた。今回集まった義援金は、これまでの支援でつながった被災者に直接届け、生活の再建に役立ててもらうという。

会長の宮崎和夫さん（77）は地震でいとこの前田進さん（当時74歳）を亡くした。宮崎さんによると、周囲では生活基盤が整わず2次避難先から戻れない人もいるといい「息の長い支援が求められている」と訴えた。

義援金は、郵便振替口座（00910-8-283681）へ。避難者からの相談も受け付けている（090・2595・1083）。【林みづき】

紙面編集 中谷文代

能登半島地震や豪雨の被災者支援のため、義援金を募る関西珠洲会の会員たち ＝大阪市中央区で

毎日新聞の記者の方に取材していただき、1月12日朝刊（大阪版）に記事が掲載されました。これまでの関西珠洲会での活動も紹介していただき、感謝です。